

再生増殖制御学分野セミナー

後援: 京都大学グローバル COE「生命原理の解明を基とする医学研究教育拠点」

講演者: 月田 早智子 先生

大阪大学大学院医学系研究科病理学講座 教授

大阪大学大学院生命機能研究科個体機能学講座 教授

京都大学再生医科学研究所再生増殖制御学分野 非常勤講師

演題: 上皮細胞間接着によるホメオスタシス制御と細胞増殖

日時: 2月26日(木) 17:00～18:00

場所: 再生医科学研究所 東館5階 ルーフテラス

講演要旨

生体内で大きな体積を占める多様な上皮細胞は、多細胞生物において、体内外の表面をおおうシート構造を形成して、体内のコンパートメントを形成する。上皮細胞(内皮細胞も含む)シートによる仕切りは単なる隔壁ではなく、選択的な物質やイオンを必要に応じて透過させ、不必要なものや毒性のあるものを排除する隔壁である。従って、上皮細胞シート形成の制御機構についての解析は、多細胞生物の生存にとってきわめて本質的であり、免疫・炎症疾患、悪性腫瘍など多岐にわたる疾患の理解のためにも重要である。ここでは、上皮細胞シートの特性を規定する細胞間接着装置であるタイトジャンクションによる細胞間バリアー/選択的物質透過性の制御機構と生体内ホメオスタシスの維持、及び、その上皮細胞増殖との関わりについて最近得られた知見を中心に議論をすすめたい。

連絡先: 再生研・再生増殖制御学分野 751-3826(瀬原)